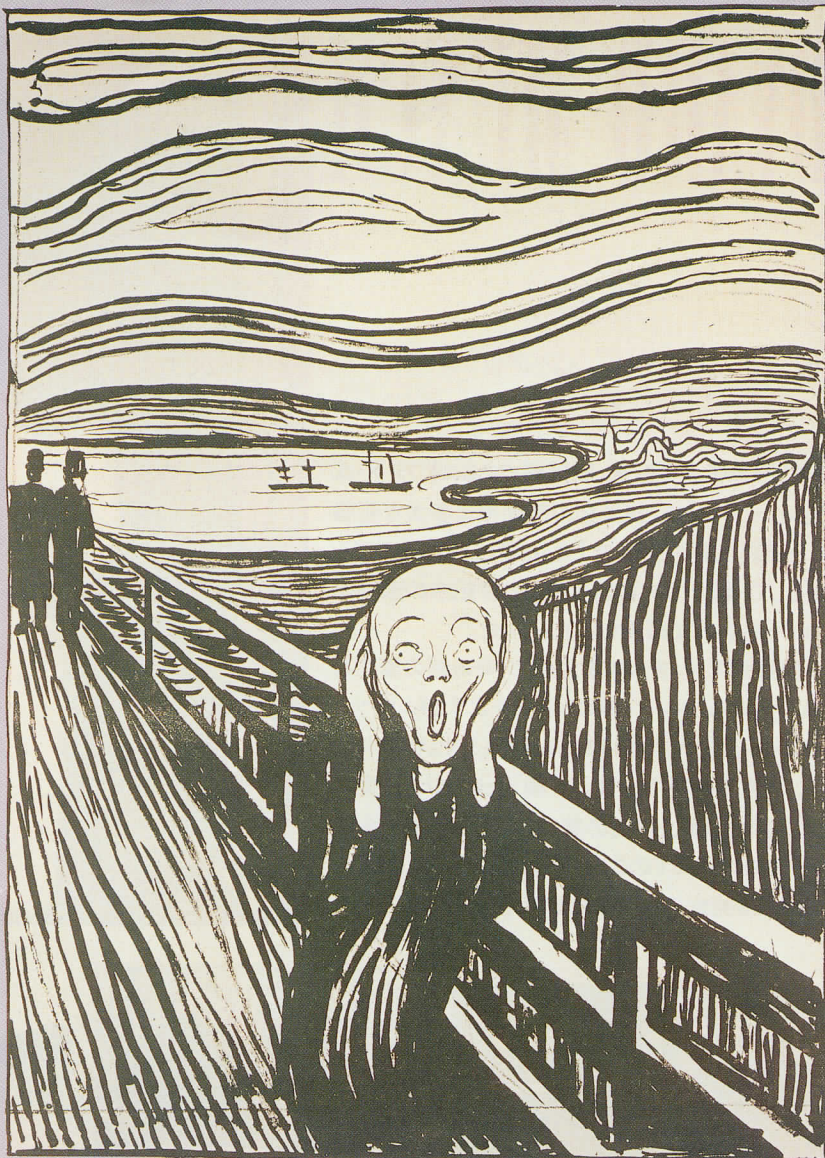


OSCAR WILDE



「叫び」1895年

オスロ・ムンク美術館所蔵

# ムンク版画展

— 愛と不安・生と死 —

7/23(金)~8/22(日)

開館/午前9時~午後5時(入室は4時30分まで) 初日は午前10時開展  
毎週金曜日は午後7時まで(入室は6時30分まで) 毎週月曜日休館

入場料/一般800円 高・大生500円 小・中生300円  
(一般前売り・団体<20名様以上>は2割引)

**高松市美術館**

高松市紺屋町10-4 Phone(0878)23-1711

主催/高松市美術館・四国新聞社・西日本放送・ムンク版画展実行委員会 後援/外務省・文化庁・ノルウェー王国大使館

# EDVARD MUNCH

## 《北欧最大の画家ムンクがつづる 愛と死のメッセージ》

ノルウェーの偉大な画家、版画家であるエドワルド・ムンク(1863～1944)は、20世紀の芸術家に多大な影響を与えた表現主義の先駆者であり、愛と不安・生と死をテーマとして、北方の神秘的な情熱と世紀末の苦悩から生まれた幻想的な画風を確立しました。

この展覧会では、オスロ市立ムンク美術館の膨大な所蔵品の内から、ムンク芸術の根幹を成すともいべき木版画を中心に、代表作140点を展示します。特に木版画はムンク自身の手で一枚だけ刷ったオリジナル版が中心で、日本でこれだけ質の高いムンクの版画が多数紹介されるのは初めてのことであり、ムンクの版画芸術の全貌を知る絶好の機会となるでしょう。



「マドンナ」1895/1902年



「メランコリー I」1896年



「棧橋の少女たち」1918年



「海辺の二人の女」1898年



「吸血鬼」1895/1902年

### ●講演会

#### 「ムンクの人と芸術」

講師/匠 秀夫(茨城県近代美術館長)

8月1日(日)午後1時30分より  
美術館1階講堂にて  
入場無料 先着200名様

### ●次回の展覧会

#### 珠玉の英国絵画展

—マンチェスター市立美術館所蔵

9月11日(土)～10月11日(月)